

TS-Z1000RS

17 cm セパレート2ウェイ

取扱説明書

正しくご使用していただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。また、お車への取付けは販売店様にご相談ください。

▲警告

! スピーカーの取付けは、必ず付属のネジを使用して確実に固定してください。また、取付ネジがダッシュボード内に埋め込まれている車の配線類に触れないよう、十分な距離があることをご確認ください。

! 使用中にネジのゆるみがないか、ときどき点検を行ってください。ネジがゆるんだまま走行しますと、スピーカー本体がはずれ、事故やケガの原因となることがあります。また、車の可動部（サンバイザー、エアバッグ部など）への取付けは、事故やケガの原因となることがありますので取付けないでください。

! ウーファー部は防水仕様となっておりますが、車種によっては、別途防水対策の必要な場合があります。特に純正の防水カバーを外す必要がある時などは、現車に合わせて万全な防水対策を行ってください。

! 本製品を付属のネットワークを使用せず、当社メインユニット内蔵のデジタルネットワークや、その他のネットワークを使用して接続する場合、接続および操作方法を誤ると本製品が破損することがあります。ご注意ください。

●ご注意とお願い

・この製品はフルレンジタイプではなく、マルチタイプスピーカーですので、必ずクロスオーバーネットワークなどを組み合わせてご使用ください。
・この製品には接続ケーブルを付属しておりませんので、別売スピーカーケーブルをお求めください。
・スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性（＋、－）を間違えて配線しますと低音感の乏しい音になります。
・連続して大音量で使用すると、磁気回路（マグネット部）の温度が高くなります。直接手を触れたり、近くに物を置かないでください。やけどや周囲のものを破損、変形させる場合があります。

●エンクロージャーについて

TS-W1000RSは、指定の内部容積のエンクロージャー（キャビネット）の使用により、最適な低音再生能力を発揮する様に設計されています。推奨サイズより小さいエンクロージャーを使用しますと、充分な低音再生が行えません。また、大きすぎても、制動不足により歯切れの悪い音質になり、耐久力の低下をもたらします。エンクロージャー（密閉型）には厚さ20 mm以上の合板または、パーティクルボードをネジ（クギ）と接着剤によって、すき間無くしっかりと組み立ててください。シリコンなどで、板の合わせ目を密閉するとさらに良いでしょう。より良い音質のために、エンクロージャーの内壁に吸音材を貼る事をお勧めします。

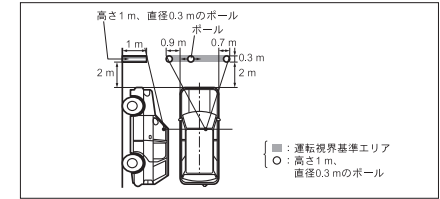
＝ダッシュボード付近に製品を取付ける場合のご注意＝

ナビゲーションモニター、ETCユニットやスピーカーなどの製品を取付ける場合、下記の点にご注意ください。

・前方視界を妨げない
・直前側方視界を妨げない
・エアバッグシステムの動作を妨げない
・ナビゲーションモニターに妨げは運転中の視線移動が少ないように
・前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取付けると、道路運送車両の保安基準^{*}に適合せず車検に通らなかつたり整備不良の対象となる場合があります。
^{*}保安基準とは、昭和26年7月28日施行　運輸省令第67号道路運送車両の保安基準における第21条及び第44条第5項の告示で定める基準をいいます。

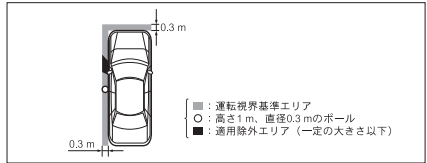
■前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のボールが直接確認できるように取付けてください。



■直前側方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のボールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取付けてください。



注) いずれの基準も左ハンドルの場合には左右逆となる。

●アフターサービスについて

1.保証書について

ご購入時には保証書にお買い求めの販売店様の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめのうえ、（車検記入などに入れて）大切に保管してください。保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したときには保証期間中であっても保証が無効となりますのでご注意ください。カースピーカーの保証期間はお買い上げ後1年間となっております。なお、当社はこのカースピーカーの補修用性能部品を製造切切後、最低6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

2.アフターサービスについて

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。ご購入後の商品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。お買い求めの販売店様に修理のご依頼ができない場合は、修理受付窓口にご相談ください。

修理についてのご相談窓口
修理受付窓口 <受付時間> 月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く） ■電話 ： ☎ 0120-5-81028／一般電話：044-572-8100 ■ファックス ： ☎ 0120-5-81029 沖繩サービス認定店（沖縄県のみ）　<受付時間> 月曜～金曜　9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く） ■一般電話 ：098-987-1120 ■ファックス ：098-987-1121

商品についてのご相談窓口
商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール） <受付時間> 月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く） ■カーオーディオ/カーナビゲーション商品 ： ☎ 0120-944-111／一般電話：044-572-8101 ■ファックス ：044-572-8103

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

■インターネットホームページ：<http://pioneer.jp/support/>（商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など）
<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる**☎**フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。正確なご相談対応のために折り返しお電話させていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

平成23年8月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

TS-S1000RS

66 mm ミッドレンジ

●特長

〈TS-Z1000RS〉
【トゥイーター部】
1.チタン製30 mmデュアルアークリングダイヤフラムを採用
30 mm口径ながら低域側の再生帯域を確保することで定位感の向上を実現。可聴帯域から48 kHzの超高音域までを質感高く再生し、音楽の持つ深みや空気感までも鮮やかに表現します。素材には、「表面改質処理」の後に、「DLC(Diamond Like Carbon)」を施したチタンを採用し、高剛性を獲得するとともに僅かな歪みまでも徹底排除しています。

2.亜鉛ダイキャストフレームを採用
フランジやバックカバーなどの筐体部と振動板を支えるホルダー部には、高剛性、低共振の亜鉛素材を採用し、徹底した耐共振性を獲得しました。あわせて筐体内の理想空気抵抗を解析することでインピーダンスマッチングの向上を図り、低共振形状の最適化を実現しています。

3.高性能磁気回路を採用
ネオジウムマグネットの外磁型により強力な磁束を獲得するとともに、高精度切削パーツを採用することでトランジェントの向上を実現しました。またアルミ平角線を使用したボイスコイルやOFCショートリングの採用などにより、信号に極めて正確な広帯域再生を可能としています。

4.真鍮削り出しコロライザーを採用
超高音域再生時に発生する不要な振動を徹底的に排除するとともに、混変調歪みの原因となるサイドローブを低減し優れた指向特性を実現します。

5.金メッキブロック端子を採用
入力信号の伝達ロスを低減するために導通性に優れた金メッキを施し、太線ケーブルにも対応したブロック端子を装備しました。

【ウーファー部】

1.一体型二層構造クロスカーボン振動板を採用
振動板には高ヤング率をほこり、素材物性に優れたクロスカーボンを採用。さらにセンターキャップ一体型二層構造とすることで、高剛性とトランジェントの向上を実現しました。振動板形状の低共振化やコルゲーションエッジの採用などによるフラット特性とあわせて、原音に限りなく忠実な再生を実現しています。

2.亜鉛ダイキャストフレームを採用
フレームやバックカバーなどの筐体部とダンパーを支えるダンパーホルダーには、高剛性、低共振の亜鉛素材を採用し、徹底した耐共振性を獲得しました。解析にもとづく低共振化構造フレームや非面接触型ポイント支持構造とあわせて、徹底した無共振化を実現しています。

3.高性能磁気回路を採用
ネオジウムマグネットの外磁型により強力な磁束を獲得するとともに、高精度切削パーツを採用することでトランジェントの向上を実現しました。またOFC平角線を使用したロングプレート・ショートボイスコイルやOFCショートリングの採用などにより、信号に極めて正確な広帯域再生を可能としています。

4.亜鉛ダイキャスト製グリルフレームを付属
振動板を保護する専用設計のグリルフレームには高剛性、低共振の亜鉛素材を採用。不要振動を徹底排除しています。

5.金メッキブロック端子を採用
入力信号の伝達ロスを低減するために導通性に優れた金メッキを施し、太線ケーブルにも対応したブロック端子を装備しました。

【クロスオーバーネットワーク部】

1.高品位音響パーツを採用
試聴によって選び抜いた高品位音響パーツを使用し、2ウェイシステムとしての性能を最大限に引き出します。

2.音響用チョークコイルおよび、音響用コンデンサーを採用
ウーファー用に音響用チョークコイルと音響用コンデンサーを採用することで、伝送ロスを徹底排除し、スピード感と情報量の獲得を実現しました。

3.大型フィルムコンデンサーを採用
トゥイーター用に大型フィルムコンデンサーを採用し、低歪でクリアな高域再生を実現しました。

4.70 μ(マイクロン)パターンの銅箔を採用
銅箔の厚みを70 μに設定し、低インピーダンス化と電容量の拡大を実現しました。

5.パイアンプ接続に対応
ウーファーとトゥイーターのそれぞれにパワーアンプの接続が可能な、パイアンプ接続対応の入力端子を装備。高品位なパイアンプ再生が可能です。

〈TS-S1000RS〉

・スピーカー仕様
口径 ……………… 66 mm

一体型二層構造クロスカーボン振動板
タンジェンシャルエッジ
OFC平角線ボイスコイル
ネオジウムマグネット

・インピーダンス ……………… 4 Ω
・出力音圧レベル ……………… 88 dB
・再生周波数帯域 ……………… 160 Hz～33 kHz
・瞬間最大入力 ……………… 50 W
・定格入力 ……………… 15 W
・質量（付属品を含む1個） ……………… 1.20 kg
・総質量（梱包材を含む2個入り） ……………… 3.80 kg

TS-W1000RS

25 cm サブウーファー

●特長

〈TS-S1000RS〉

〈TS-S1000RS〉

1.一体型二層構造クロスカーボン振動板を採用
振動板には高ヤング率をほこり、素材物性に優れたクロスカーボンを採用。さらにセンターキャップ一体型二層構造とすることで、高剛性とトランジェントの向上を実現しました。振動板形状の低共振化やタンジェンシャルエッジの採用などによるフラット特性とあわせて、原音に限りなく忠実な再生を実現しています。

2.亜鉛ダイキャストフレームを採用
フレームやバックカバーなどの筐体部には、高剛性、低共振の亜鉛素材を採用し、徹底した耐共振性を獲得しました。あわせて筐体内のキャビネット容積を最適化することで、ミッドレンジユニットとして理想の再生能力を獲得しています。

3.高性能磁気回路を採用
ネオジウムマグネットの外磁型により強力な磁束を獲得するとともに、高精度切削パーツを採用することでトランジェントの向上を実現しました。またOFC平角線を使用したボイスコイルやOFCショートリングの採用などにより、信号に極めて正確な広帯域再生を可能としています。

4.亜鉛ダイキャストフレームを付属
振動板を保護する専用設計のグリルフレームには高剛性、低共振の亜鉛素材を採用。不要振動を徹底排除しています。

5.金メッキブロック端子を採用
入力信号の伝達ロスを低減するために導通性に優れた金メッキを施し、太線ケーブルにも対応したブロック端子を装備しました。

〈TS-W1000RS〉

1.一体型三層構造クロスカーボン振動板を採用
振動板には高ヤング率をほこり、素材物性に優れたクロスカーボンを採用。さらにセンターキャップ一体型三層構造とすることで、高剛性とトランジェントの向上を実現しました。振動板形状の低共振化やコルゲーションエッジの採用などによるフラット特性とあわせて、原音に限りなく忠実な超低域再生を実現しています。

2.亜鉛ダイキャストフレームを採用
フレームやバックカバーなどの筐体部とダンパーを支えるダンパーホルダーには、高剛性、低共振の亜鉛素材を採用し、徹底した耐共振性を獲得しました。解析にもとづく低共振化構造フレームや非面接触型ポイント支持構造とあわせて、徹底した無共振化を実現しています。

3.高性能磁気回路を採用
ネオジウムマグネットの内磁型により強力な磁束を獲得するとともに、高精度切削パーツを採用することでトランジェントの向上を実現しました。またOFC平角線を使用したショートプレート・ロングボイスコイルの採用などにより、信号に極めて正確な超低域再生を可能としています。

4.小容積設計
推奨エンクロージャー容積を17 リットルとした設計(使用範囲14 リットル～28 リットル)により自由度の高い設置が可能です。

5.金メッキブロック端子を採用
入力信号の伝達ロスを低減するために導通性に優れた金メッキを施し、太線ケーブルにも対応したブロック端子を装備しました。

【トゥイーター部】

・スピーカー仕様
口径 ……………… 30 mm
デュアルアークリングトゥイーター
DLC(Diamond Like Carbon)チタンダイヤフラム
アルミ平角線ボイスコイル
ネオジウムマグネット

・インピーダンス ……………… 6 Ω

本製品のパッシブネットワーク以外と組み合わせる場合は、fc=5 kHz、－12 dB/oct.以上のクロスオーバーにてご使用ください。

【ウーファー部】

・スピーカー仕様
口径 ……………… 17 cm
一体型二層構造クロスカーボン振動板
コルゲーションエッジ
OFC平角線ボイスコイル
ネオジウムマグネット

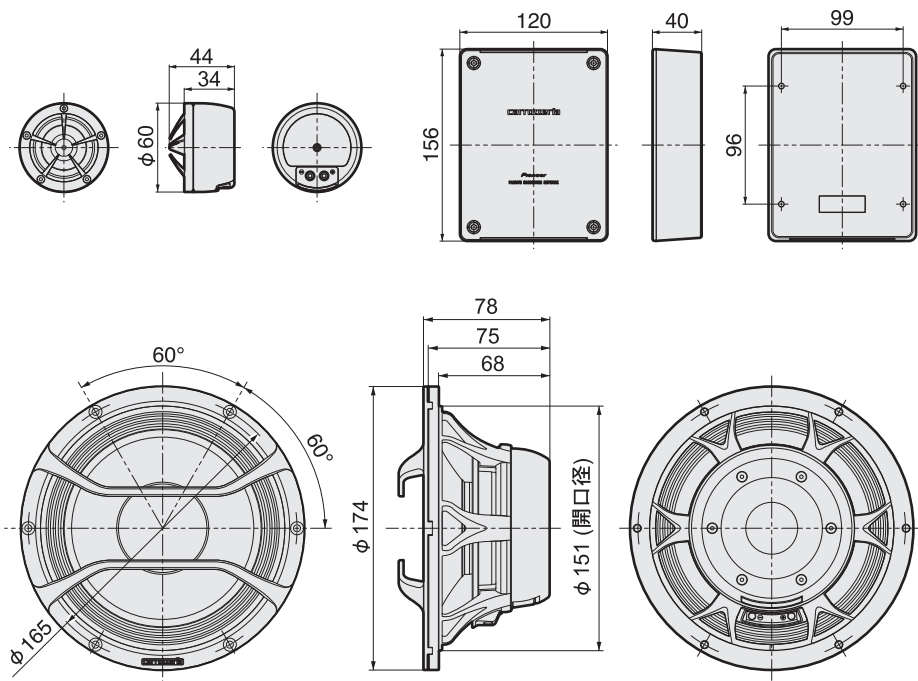
・インピーダンス ……………… 4 Ω

本製品のパッシブネットワーク以外と組み合わせる場合は、fc=5 kHz、－12 dB/oct.以上のクロスオーバーにてご使用ください。

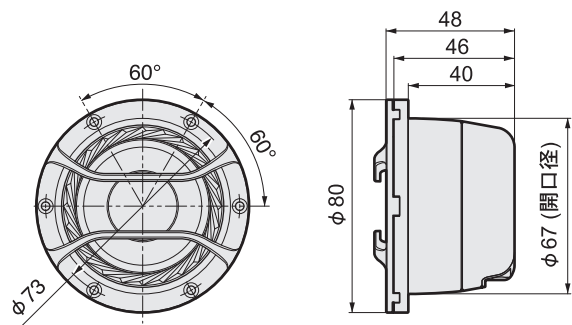
・インピーダンス ……………… 4 Ω
・出力音圧レベル ……………… 86 dB
・再生周波数帯域 ……………… 21 Hz～3.7 kHz
・瞬間最大入力 ……………… 300 W
・定格入力 ……………… 150 W
・質量（付属品を含む） ……………… 7.36 kg
・総質量（梱包材を含む） ……………… 7.80 kg

上記の仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

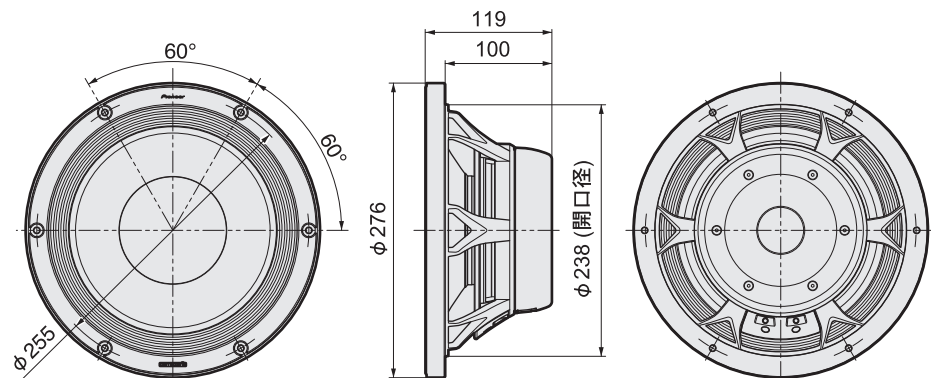
●製品寸法
(TS-Z1000RS)



(TS-S1000RS)

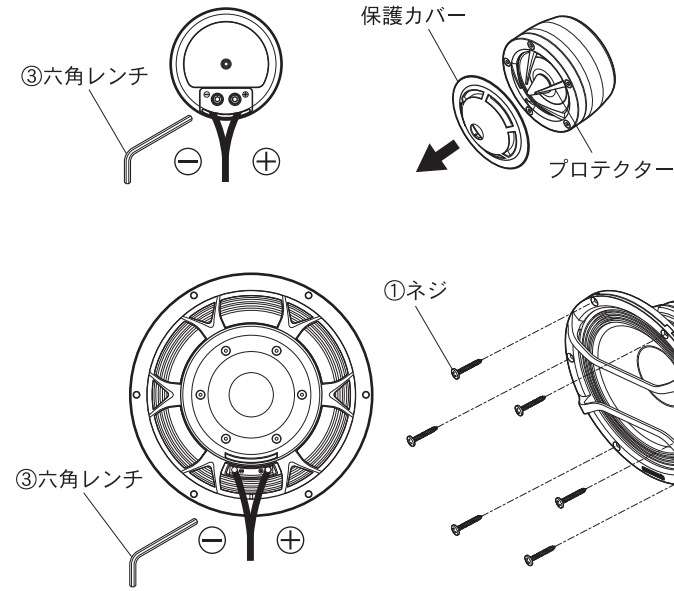


(TS-W1000RS)

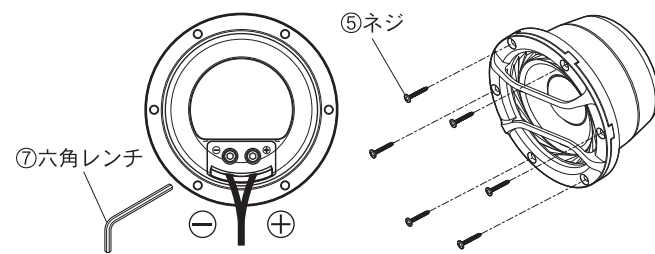


単位：mm

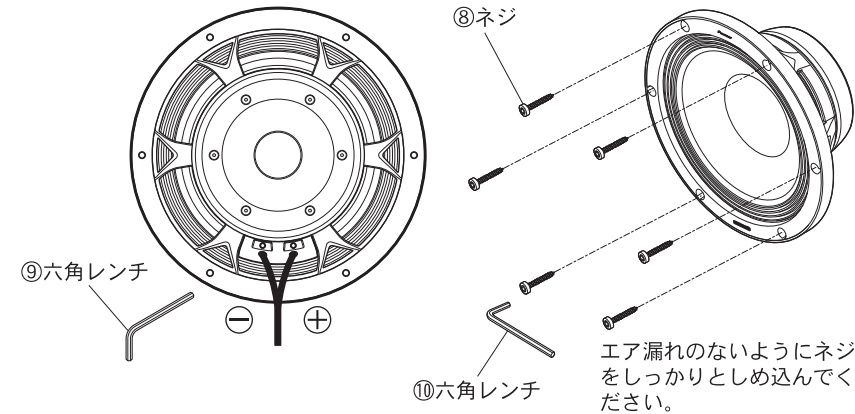
●取付方法
(TS-Z1000RS)



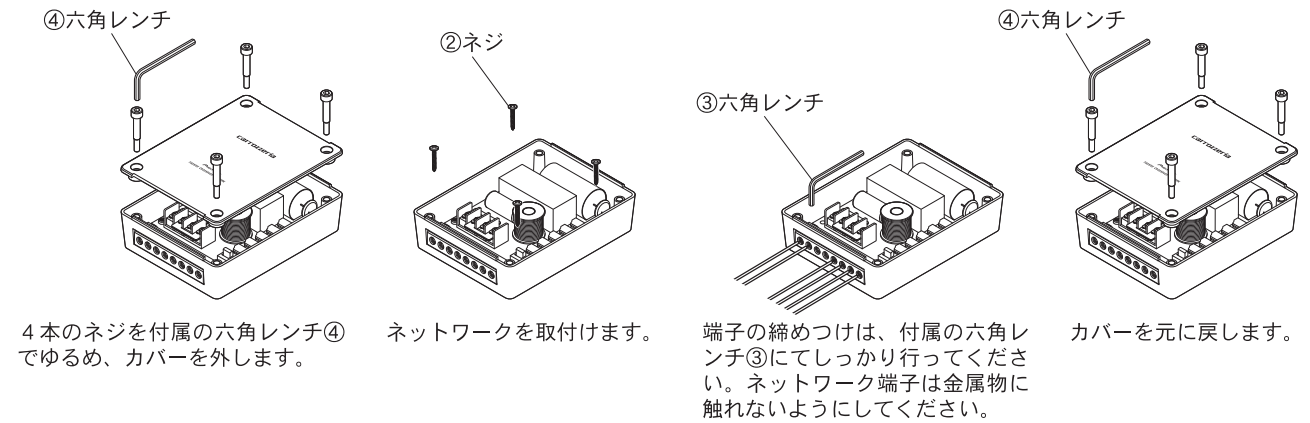
(TS-S1000RS)



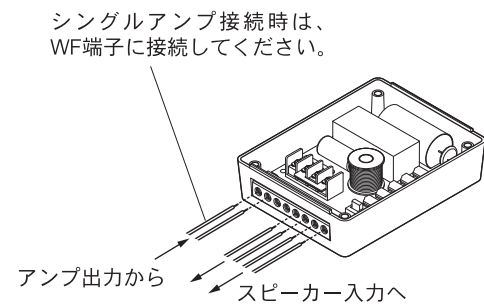
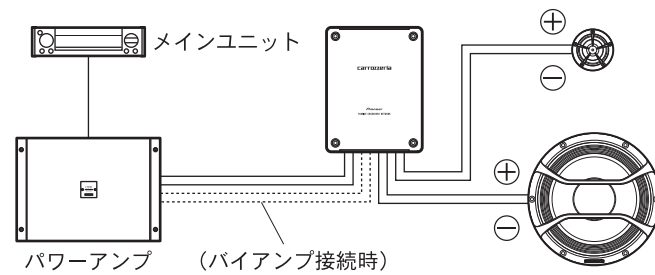
(TS-W1000RS)



⚠ 注意 プロテクター内に指を入れたり振動板に触れたりする事は絶対にしないでください。思わぬけがをしたり故障の原因となる事があります。
⚠ 注意 実際に取付作業が終わるまで振動板保護カバーは絶対に外さないでください。

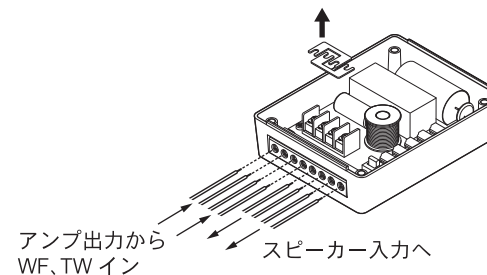


●接続方法
(TS-Z1000RS)



シングルアンプ接続時は、WF端子に接続してください。

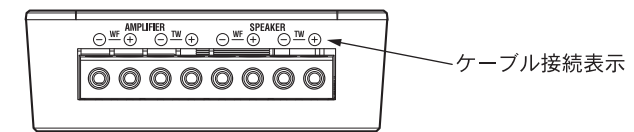
バイアンプ接続時は、端子金具を外します。



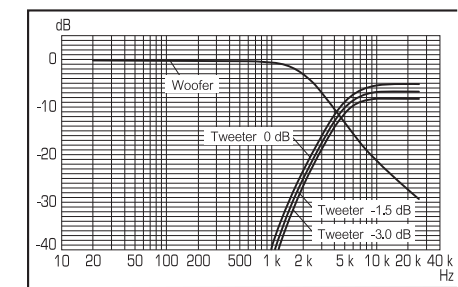
アンプ出力から WF, TW イン

トゥイーターとウーファーの配線を間違えると、過大入力により破損および発煙の危険がありますので、必ず使用前にご確認ください。クロスオーバーネットワークにはトゥイーター感度切替スイッチがありますので、お好みに合わせて切り替えてご使用ください。(工場出荷時は 0 dB となっております)

この製品には接続ケーブルを付属しておりませんので、別売スピーカーケーブルをお求めください。



●ネットワーク伝送特性



●付属品

(TS-Z1000RS)

- ① φ4 mm×30 mm ×12
- ② φ4 mm×25 mm ×20
- ③ 六角レンチ (2.5 mm) ×1
- ④ 六角レンチ (4 mm) ×1

(TS-S1000RS)

- ⑤ φ2.6 mm×30 mm ×12
- ⑥ φ3 mm×25 mm ×12
- ⑦ 六角レンチ (2.5 mm) ×1

(TS-W1000RS)

- ⑧ φ5 mm×30 mm ×6
- ⑨ 六角レンチ (2.5 mm) ×1
- ⑩ 六角レンチ (5 mm) ×1